

令和2年度 下水道維持管理業務取組み発表会
発表概要

所属	多々良川浄化センター
発表タイトル	継続的な省エネ運転に向けて
取組の目的	2006年度から省エネ法の規制により省エネ対策に取り組んできたところであるが、2023年度から放流水質の規制が強化されることから、より強力な対策が必要となった。そのため、今後の省エネ対策について検討を行うもの。
取組内容	抜本的な省エネ対策を行うため、ポンプや攪拌機等、比較的大量のエネルギーを消費する全ての機器について、消費電力の調査を実施した。水質を安定させたまま、長期的な省エネ対策が可能となるよう、それぞれの機器の運転時期や最適な運転の組合せについて検討を行った。
取組成果・効果	これまで、紫外線消毒装置の運転変更のみでエネルギー消費の調整を行っていたが、様々な機器で調整が可能となり、長期的な省エネ対策が可能となった。